

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童ディサービスばるみどりい(放課後等ディサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年10月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年 9月2日		～ 令和6年10月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎の時に、直接保護者の方に子どもさんのその日の様子や工夫して関わったことなどをお伝えしたり、おうちや小学校の様子など、保護者のかたとしっかり話をすることができます。	子どもさんの良い行動や関わりの工夫でうまくいったことなどをお伝えするようにしています。また、困っていることがあれば、すぐにお話がしやすい雰囲気作り心がけています。	教室を気軽に見学してもらいながら、関わりの話ができるように子育てサポートを積極的に取り入れたり、相談がある時には、すぐに時間を作って話ができるように体制を整えています。
2	活動がつながるように絵本を題材にしたり、その季節を感じる活動を取り入れたりしながら、集団活動に期待して、取り組める活動があります。	絵本や季節の取り組みを入れながら、イメージの世界を膨らまし、楽しめるようにしている。また、活動の中に友達との関わりを作っていくように指導員が工夫して関わっている。	長期休業中を利用して、子ども達が企画して実現できる活動を取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がなく、保護者の方の送り迎えが必要です。	職員の確保が難しいです。	送迎時に、保護者の方としっかりお話ができるので、情報共有を大切にしながら取り組んでいます。
2	入口の靴を着脱する場所が狭いです。	スペースに限りがあります。	限られたスペースの中で靴の着脱の場所がわかりやすいように工夫していきます。
3			